

相談方法

★原則予約制です。

(以下のいずれかの方法で予約してください。)

- ①メール：shienshitsu@dcu.ac.jp に氏名・学科・学年・学籍番号・連絡先：携帯&メールアドレス（PC メールが届くように設定しておいてください）・希望日時を第3希望まで書いて送信してください。 ※次のサポートルームの開室日までに返信します。
- ②電話：044-966-9211（代表）にかけて、サポートルームにつないでもらう。
- ③開室日のみ直通：080-7806-3006 に電話をしてください。

★対面での相談の他、電話またはオンラインによる相談も選択することが出来ます。

★相談の秘密は守られます。

ご本人の理解を得たうえで、サポートに関する学内関係部署との調整を行いますので、安心して相談してください。



サポートルーム室内

※「学生生活ガイド」もご参照下さい。



田園調布学園大学 サポートルーム

開室日：火曜・木曜・金曜日

時 間：10時から16時

〒215-8542 川崎市麻生区東百合丘 3-4-1

T E L：044-966-9211（内線 554）

直 通：080-7806-3006（開室日のみ）

E-mail：shienshitsu@dcu.ac.jp

2023.03

サポートルーム 案内

障害学生支援室（通称・サポートルーム）は、障害のある学生のために学修環境を整え、他の学生と平等な学修機会を提供し、また安心した学生生活を送ることができるようにサポートします。



学生のみなさんへ

サポートルームは、大学生活や学修面で困難を抱えている学生と具体的な支援をつなぐ窓口です。講義、演習、実習、就職活動、行事などについて合理的配慮に基づいてサポートをします。

こんなことで困っていませんか？

- ☑ 視覚障害があり、資料の文字が読みにくい。
- ☑ 書字に課題があり、板書を写すのに時間がかかる。
- ☑ 雑音が気になって授業に集中できない。
- ☑ 授業間の移動に時間がかかる。
- ☑ 障害者枠での就職について知りたい。

具体的な支援例

◆ 授業および試験

拡大コピー、座席の配慮、機器の貸し出しなど

◆ 環境調整

学内バリアフリー（トイレ・エレベーター等）
実習環境の調整、普及啓発、ボランティア養成等

◆ 進路相談 情報提供、他機関への紹介等

◆ 個別相談

※個別的な配慮には限界があるため、やむなく希望にそえない場合もあります。

※修学上の支援には生活介助全般（食事介助、排泄介助、通学支援、医療行為等）は含まれていません。



困ったことがあったら気軽にサポートルームにご相談ください。担当は、キャンパスソーシャルワーカー（社会福祉士もしくは精神保健福祉士）です。

支援の流れ

1. 申請書類の受け取り・提出



申請書類の受け取り・提出は大学生活・進路支援課となります。提出の際には、申請書類のほかに、障害者手帳のコピー、または医師の診断書もしくは公的書類等が必要です。
※申請前にサポートルームで申請についての相談をすることができます。

2. 支援の検討・決定



支援内容については、在籍する学部・学科、アドバイザー、サポートルーム、関係部署等で検討し決定します。

3. 支援内容の確認・調整



授業・試験については教学支援課が「配慮依頼文書」を作成し、学生と確認・調整をします。なお、大学生活全般（授業・試験を除く）については、大学生活・進路支援課が支援内容に応じて学生に連絡します。

4. 支援開始



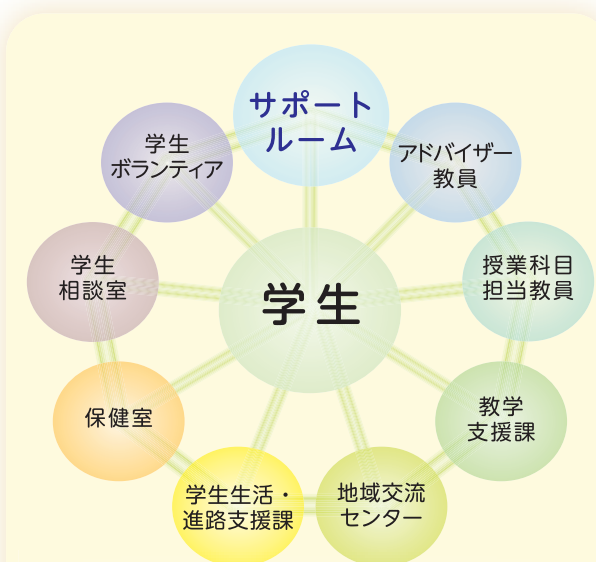
「配慮依頼文書」は教学支援課から学生本人にでんでんばんを通じて配信されます。
本人が科目担当者に提出することにより支援開始となります。また、大学生活全般（授業・試験を除く）に関する支援は内容に応じて大学生活・進路支援課が個別に対応します。

モニタリング

支援開始後、支援の内容の見直しや調整が必要な場合にはアドバイザーやサポートルームに相談してください。
年2回程度モニタリングを行います。

サポート体制

☆学生と相談しながら関係部署との調整を行います。



学生ボランティア募集

本学では、学生ボランティアの養成を積極的に取り組んでいます。ノートテイク、要約筆記、手話通訳等の専門的ボランティアを養成し、支援していく体制を整えていく予定です。学生皆さんの積極的な参加を期待しています。

修学支援の充実に向けて

障害学生支援の充実を図るために以下の機関等と連携しています。

- ◆ 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）
- ◆ 日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（PEPNet-Japan）